

＼ おわりあさひ ／

NO.
246

2025

6.1

市議会だより

P2-3
1月臨時会での主なことがら

特集 P2-3
3月定例会での主なことがら

P4-5
委員会での審査

P6
議案等の審議結果

P7
代表質問

P8-11
個人質問

P12
6月定例会の日程



📷 市内各地にあるスポットガーデンは、花盛り・ボランティアにより運営されています。



1月 臨時会での主なことから

尾張旭市議会令和7年第1回(1月)臨時会が、1月27日に開催され、補正予算1件を審議し、可決しました。

補正予算

第1号議案 令和6年度一般会計補正予算(第6号)

物価高騰の影響を受ける世帯への支援として、住民税非課税世帯などに給付金を給付するため、**2億6,620万円**を追加しました。

議案等の審議結果

■ 全会一致で原案可決された議案

議案番号	件名	可否
第1号	令和6年度一般会計補正予算(第6号)	可決

3月 定例会での主なことから

令和7年度の当初予算が決まりました

一般会計 **316億4,000万円**

前年度から11.3%増

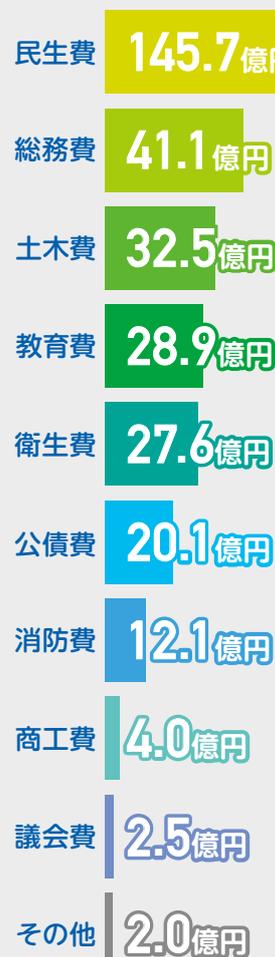
歳入

0 10 20 30 40 50%



歳出

0 10 20 30 40 50%



予算決算委員会での審査

福祉文教分科会

第1号議案 令和6年度一般会計補正予算(第6号)

Q 住民税非課税世帯等価格高騰給付金事業で、確認書に対する返信がない世帯への対応は。



A 返信がない世帯には、返信期限の令和7年6月30日の一月前である5月を目途に、返信を促す勧奨通知を送付することを考えている。期限までに返信いただいたものについては、速やかに対応していく。

特別会計・企業会計

会計名	予算額
国民健康保険	71億7,000万円
土地取得	2億6,900万円
旭平和墓園事業	9,870万円
介護保険	69億8,000万円
後期高齢者医療	17億6,500万円
小計	162億8,270万円
水道事業	24億6,138万円
公共下水道事業	34億8,188万円
小計	59億4,325万円
合計	222億2,595万円

※各表の金額は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計などと一致しない場合があります。

令和6年度 補正予算一覧

第2号議案 令和6年度一般会計補正予算(第7号)

既定の予算総額に**4億2,315万円**を追加

【主な内容】物価高騰対策の交付金事業などを追加

第31号議案 令和6年度一般会計補正予算(第8号)

既定の予算総額に**8,362万円**を追加

【主な内容】避難所環境の改善

会計名	補正額
一般会計(第7・8号)	5億676万円
国民健康保険特別会計	0円
介護保険特別会計	1億8,374万円
後期高齢者医療特別会計	2億1,959万円
公共下水道事業会計	収益的収入 1,600万円

トピックス

中央防災倉庫整備工事を実施

市内3か所に点在する地域防災倉庫を市の中心に位置する消防本部敷地内に集約して、中央防災倉庫として整備します。

1か所に集約することで、災害時の限られた人員で効率的な物資搬送を可能にするとともに、物資の管理を一元化します。



完成イメージ

予算決算委員会での審査

総務分科会

第7号議案 令和7年度一般会計



Q 備蓄物資・資機材整備管理事業について、避難所の質の向上への対応は。

A 避難所生活の改善、特にトイレ環境の改善については、市長からも質の向上を含めた対応について指示があった。避難所環境の改善をさらに進めるとともに、資機材の購入を早める施策を図りたい。



福祉文教分科会

第7号議案 令和7年度一般会計



Q 中学校体育館等空調設備整備事業の詳細内容は。

A 中学校の体育館や柔剣道場は、授業や部活動等で使用する機会が多く、夏休みの使用頻度も高いため、ライフサイクルコストや二酸化炭素排出量が低く、ランニングコストが抑えられる都市ガスによるGHP方式とし、災害時の指定避難所であることから停電時にも使用できるよう、蓄電池を備えた電源自立型を採用する。



都市環境分科会

第7号議案 令和7年度一般会計



Q 公共交通網整備事業のデマンド交通実証実験委託料について、実証実験の概要は。

A 市内を運行するタクシー事業者の協力を得て、対象区域在住の要件を満たす登録者が事前に予約し、自宅や移動可能範囲内の駅や診療所等に設定した停留所間を移動する公共交通である。一乗車300円を予定している。



各常任委員会での審査



総務委員会



第29号議案 尾張旭市と名古屋市との間の
消防通信指令に関する事務の委託

Q 具体的な事例は。

A 火災や救急など出動が多発し、管轄する消防本部の出動隊が不足した場合には、自動で近隣の消防本部の出動隊が応援出動することになる。応援体制的には、より強化されることになる。



福祉文教委員会



第26号議案 国民健康保険税条例の一部改正

Q 標準保険料率到達と赤字解消は。

A 令和11年までに赤字を解消し、標準保険料率に到達させ、一般会計からの法定外繰入をなくす。また、被保険者の経済的負担の軽減を図るため、国保財政の支援拡充について、国・県への要望を継続していく。



都市環境委員会



第21号議案 手数料条例の一部改正

Q 草刈り機の貸出手数を1,000円に引き上げる根拠は。

A 消耗品費やメンテナンス費の増大のためであり、利用者に実費負担を求める。



議案等の審議結果



全会一致で原案可決等された議案

網掛けは、討論のあった議案

議案番号	件名	可否
第2号	令和6年度一般会計補正予算(第7号)	可決
第3号	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決
第4号	令和6年度介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決
第5号	令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決
第6号	令和6年度公共下水道事業会計補正予算(第4号)	可決
第9号	令和7年度土地取得特別会計予算	可決
第10号	令和7年度旭平和墓園事業特別会計予算	可決
第13号	令和7年度水道事業会計予算	可決
第14号	令和7年度公共下水道事業会計予算	可決
第15号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正	可決
第16号	職員定数条例の一部改正	可決
第17号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可決
第19号	職員の旅費支給に関する条例の一部改正	可決
第20号	財政状況の公表に関する条例の一部改正	可決
第21号	手数料条例の一部改正	可決

議案番号	件名	可否
第22号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第23号	児童厚生施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決
第24号	老人いこいの家の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決
第25号	廃棄物処理清掃条例の一部改正	可決
第27号	水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第28号	非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正	可決
第29号	尾張旭市と名古屋市との間の消防通信指令に関する事務の委託	可決
第30号	瀬戸尾張旭消防通信指令事務協議会の廃止	可決
第31号	令和6年度一般会計補正予算(第8号)	可決
第32号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第33号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
同意案第1号	公平委員会委員の選任	同意
同意案第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意
委員会提案第1号	議会委員会条例の一部改正	可決
委員会提案第2号	議会個人情報保護条例の一部改正	可決

賛否が分かれた議案

○：賛成 ×：反対 を表示しています。
 網掛けは、討論を行った議員です。
 議長(松原たかし)は採決に加わりません。

議案番号	件名	可否	会派名																		
			令和あさひ						市民クラブ				公明党尾張旭市議団		日本共産党尾張旭市議団		愛知維新の会尾張旭市議団				
			秋田さとし	さかえ章演	陣矢幸司	谷口武司	日比野和雄	松原たかし	安田吉宏	若杉たかし	市原誠二	いとう伸一	大島もえ	櫻井直樹	早川八郎	芦原美佳子	片淵卓三	丸山幸子	川村つよし	榎原利宏	勝股修二
1 第7号	令和7年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
第8号	令和7年度国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
第11号	令和7年度介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
第12号	令和7年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
第18号	職員の給与に関する条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
第26号	国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
議員提案第1号	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の特例を定める条例の制定	否決	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	

討論の内容は、市議会のホームページ(「提出議案と議決結果」で検索→定例会名)からご覧いただけます。

1 のついた議案は、P3の「3月定例会での主なことから〈トピックス〉」で詳しい内容をご覧いただけます。

※議長(松原たかし)、副議長(陣矢幸司)、監査委員(大島もえ)は、慣例により一般質問を控えています。



「環境・都市基盤」施策について市の見解を伺う



令和あさひ
さかえ 章演

Q 三郷駅周辺まちづくり事業の今後の展望について市の見解を伺う。

A 本事業は、工事費高騰の影響を受け大幅な事業費の増加が見込まれ、現在工事費縮減など事業計画の見直しや、駅の改修内容を名鉄と協議を進めている。そのため、事業完了は当初の令和9年度から12年度を見込んでいる。魅力と活気あふれるまちづくりには、三郷駅周辺の再構築は必要だ。今後も事業の着実な進捗に努める。

Q 当市の上下水道料金の値上げについて市の所見を伺う。

A 水道事業では、本市は県営水道から100%水道水を購入しており、県営水道の料金値上げの影響は大きい。下水道事業では、経費回収率(使用料対必要経費の割合)が83%で不足分を一般会計からの繰入金で補填している。料金値上げは避けられず、新年度の上下水道経営審議会で審議し、令和8年度からの改定を予定している。



より良い暮らしにするための財政について



市民クラブ
早川 八郎

Q 本市の発展のためには、まずは財政の立ち位置や状況把握が大切。その立ち位置は。

A 本市の財政的な特徴は、市税の大半を個人市民税や固定資産税が占めており、安定的に確保できている。立ち位置としては、自主財源比率が全国ランキング792団体中100位で、歳入面では財源が確保しやすい。一方、義務的経費比率が536位、人件費率は763位と歳出面での財政硬直化が進んでいる。

Q 本市の眠っている土地や有効利用されていない施設などを手放し、身軽にする必要がある。本市の財産の整理整頓について伺う。

A 社会ニーズの変化などにより市有地や施設では、その役割を終えたものもある。今年1月に「公共建築物の再編・整理に関する基本的な方針」を策定。引き続き市民ニーズに合った対応をしていく。また、利用予定のない市有地は積極的に売却をし、財源確保に努める。



学校体育館エアコンの早期設置を!



公明党
尾張旭市議団
芦原 美佳子

Q 国は学校体育館の空調整備の加速化を進め、早期実施に向けた支援を行っている。気候変動や避難所としての機能強化を踏まえ、小学校も早期整備を。

A 教育委員会の意向を踏まえ、部活動などで活用頻度の高い中学校から設置することとしたが、小学校については、もうしばらく時間が必要。できる限り早期に設置できるよう、効果的な整備手法のほか、財政支援策の活用検討にも着手している。

Q 努力義務として示されている認知症施策推進計画を本市でも策定し、実情に応じた認知症対策を推進すべきでは。

A これまでも第9期尾張旭市高齢者保健福祉計画の重点取組として認知症施策の推進を掲げ、認知症予防や初期段階で医療につなげるサポートのほか、地域で支える環境づくりに取り組んできた。今後は認知症施策推進計画の策定に向けた検討を進めたい。



移動スーパーとの連携を!

櫻井 直樹



Q 買い物に不自由を感じている高齢者を支援しながら、高齢者の見守り活動にもつながる「移動スーパー」との連携が取れないか。

A 手軽に買い物ができる「移動スーパー」はとても便利な支援形態であり、有益なサービスのひとつと認識している。また、地域の見守り活動などの役割を担うため、自治体と連携している事例もある。「移動スーパー」と連携している自治体事例を調査研究するとともに、関係部署とも連携を共有したいと考えている。



インスタントハウスの活用

若杉 たかし



Q 名古屋工業大学大学院、北川教授が研究開発した、インスタントハウスが被災地、輪島市で大変活躍している。数時間で建設でき夏の台風にも耐え、冬の断熱効果も高いインスタントハウスを尾張旭市が被災した場合に活用できないか検討してほしい。

A 本市は、インスタントハウスの開発者である北川教授の所属する名古屋工業大学と防災まちづくりに関する協定を結んでいるので、インスタントハウスの活用状況等について研究していきたい。



駅前再開発いくら必要なの

川村 つよし



Q 物価や人件費の高騰があり、それらは今後も続くと思われる。このまま再開発事業を進めてよいものか強い疑念を持っている。まだ市費がいくら必要になるかハッキリしない状況なのか。

A 事業区域内では既に転出により空き店舗、空き家の増加による収益の減少、治安の悪化を懸念する権利者や地域の方から事業の早期完了が求められている。計画の見直しを進めている段階で、市の負担額をお答えできるような段階にない。



屋神温泉の足湯によるPR

市原 誠二



Q 市役所玄関に「尾張あさひ苑」の源泉を用いた足湯で施設PRを行うべき。

A PR効果が高いと考えるが、阿智村の区域外への温泉の運搬が条例により禁止されており、実施することができない。



※この写真はイメージです



**朝の子どもの居場所**

いとう 伸一



Q 共働き家庭が増加し、両親が朝早く出勤し登校前に子どもだけで過ごす場合に、小学校内の施設を開放し、始業前の子どもの居場所にすることを提案する。

A 小学校内の施設を利用し、シルバー人材が事業受託するとしても、児童の安全が確保されることが前提で、児童への理解や救急時対応など体制整備が必要である。未就学児については、令和8年度に開所する2か所の民間保育所においては朝7時からの延長保育を実施する予定である。

**高齢者外出支援について**

秋田 さとし



Q 高齢者外出支援の交付率、利用率と高齢者外出支援の本来の趣旨を踏まえて今後の課題、改善策について伺う。

A 令和5年度の交付率は、タクシー利用券のみが35.4%、あさぴー号利用券のみが7.9%、タクシー利用券とあさぴー号利用券の併用が18.2%で、利用率はタクシー利用券29.0%、あさぴー号利用券が41.5%になっている。タクシーの利用券という限定的な範囲で見直しを図るのではなく、幅広くかつ新たな視点で検討する。

**民生委員の負担軽減を！**

丸山 幸子



Q 民生委員の高齢者などの実態調査訪問は、暑い時期に重なり大きな負担となっている。民生委員の負担軽減について見解を伺う。

A 民生委員の皆さんに活動しやすい環境で、役割を十分発揮していただくためには、市ができる限り活動をサポートすることが重要と考えている。民生委員の皆さんが、相談しやすい体制づくりに努めている。今後は、少しでも調査の期間を延ばすことができないか関係課と協議したいと考えている。

**あさひAEDサポートとは**

日比野 和雄



Q あさひAEDサポート事業について伺う。

A 1点目は市内で開催されるイベントに無償でAEDを貸出す「AEDの貸出制度」。2点目は市内所在のAED設置施設に登録を依頼し、設置場所を公表することで地域のAEDとして有効活用する「AEDの登録制度」。3点目は登録されたAED設置施設のAEDに係る消耗品の交換時期などの管理情報を提供するとともに日常点検の啓発をする「AEDの管理支援制度」がある。





旭の祭りと周年事業を考察

谷口 武司



Q

「棒の手」「馬の塔」等と重複して、地域の祭り(郷祭)を文化財指定することは可能か。

A

長久手市では、地域の祭り(郷祭)自体を文化財に指定している。本市では、個々の保存会があるものの、地域の祭り(郷祭)自体に保存会等の組織がない。文化財に指定するには地域の方のご意見を聞く必要がある。



自衛隊中学職場体験やめよ

榊原 利宏



Q

自衛隊は軍隊であり賭命義務が課され、企業や官庁と異なる。中学の職場体験での自衛隊の実績、武器を見たり触れたりしたか。体験先にすべきではないのではないか。

A

守山駐屯地に2校から延べ41名が学習。各種車両は見たが、殺傷能力のある銃器や装備の見学、接触はしていない。自衛隊の職場体験は保護者の理解が必要な危険を伴うものではない。自衛隊は「様々な職業の一つ」。



中学校の休日部活動

安田 吉宏



Q

地域連携における「東邦ガス」との協定について。

A

休日部活動の実証実験を「西中学校」において実施する。「東邦ガス」(グループも含む)の社員が「副業」として「外部指導者」となり、休日部活動の指導、主に「技術指導」を行う。(ソフトボール部、バレーボール部、剣道部)(令和7年3月時点)謝礼は1時間2,000円。協定期間は令和8年3月末まで。同社以外の事業者との連携についても、積極的に推し進める。



ナンバープレートについて

片淵 卓三



Q

交付してから11年が経過している。新たなデザインを検討してはどうかと思うが。



A

市のPRポイントやふるさととしての愛着心の醸成、そのほか在庫の状況などを踏まえ、新たなデザインの採用、採用した場合の切り替えるタイミングなど、今後の方向性を検討していきたい。





地域公園の利活用を

勝股 修二



Q 公園には地域の活性化に向け、柔軟に活用することが求められている。公園利活用の手法について市民の皆様にお知らせして、色々なアイデアを頂いてはどうか。

A 公園の利活用については、過去には、民間団体によるイベントの開催や飲食物の販売などが実施されている。公園使用に関する案内を、ホームページや広報誌に掲載し、より多くの方に利活用していただけるよう周知を図っていく。



集会所施設の有効活用を

山下 幹雄



Q 老人いこいの家、ふれあい会館の利用状況と老朽化、費用対効果、統廃合を含めた検証について。

A 老人いこいの家は本年7月より2施設廃止となる。年間600人から3,000人と施設格差がある。ふれあい会館は、令和5年度実績で全7館合計50,734人の利用者があった。最大は東印場ふれあい会館が16,262人。最少は大久手ふれあい会館が2,455人。統廃合は、施設の有効活用や維持管理費削減等のメリットはある。



市議会と意見交換会を行う団体を募集しています

市議会では、市内で活動する団体や自治会等の皆様との意見交換会を開催しています。ID 3462

議会及び議員の活動について理解を深めることや、市民の様々な意見を参考にし、政策提案機能の強化を図り、市政にいかすため、意見交換会を開催しています。

お申込みをされる場合は、開催希望日の3か月前までに、「意見交換会開催申込書」を議会事務局までご提出ください。詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。



「尾張旭市議会だより」をリニューアルしました!

新しい編集方針のもと、今号から市議会だよりを全面リニューアルしました。市民の皆さまに市議会のことをより知っていただけるよう、見やすい、分かりやすい情報発信をしていきます。



読みたくなる
市議会だより

伝わる
市議会だより

令和7年 第4回 6月定例会の日程

日	月	火	水	木	金	土
6/1	2	3	4	5	6	7
8	9 本会議(初日)	10	11	12	13 本会議(一般質問)	14
15	16 本会議(一般質問)	17 本会議(一般質問) 予算決算委員会	18	19	20 福祉文教委員会 予算決算委員会 ・福祉文教分科会	21
22	23 都市環境委員会 予算決算委員会 ・都市環境分科会	24 総務委員会 予算決算委員会 ・総務分科会	25 予算決算委員会	26	27 議会運営委員会	28
29	30 本会議(最終日)	7/1	2	3	4	5

市議会だよりの記事に関するご意見・ご質問をお寄せください

☎ (0561)76-8186
☎ (0561)52-2222
✉ giji@city.owariasahi.lg.jp

市議会だよりは、3月、6月、9月、12月の年4回の定例会、また、必要に応じて開かれる臨時会の議事の内容を中心に編集、発行しています。